

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	建築構法		担当教員	下村波基、上原義己		
学年学科	2 年	建築学科	前期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(D - 2) 8 0 %、(E) 2 0 %					
授業の目標と期待される効果： 建築構造物に求められる機能は、安全で快適な空間を確保していることである。この授業では、主に鉄筋コンクリート構造と鉄骨構造の基本となる事項を幅広く学習し、続く専門科目を理解するための基礎知識を習得し、それらを建築設計に活用する手段を理解することを目標とする。 (1) 鉄骨構造の材料や構成を理解する (2) 鉄筋コンクリート構造の材料や構成を理解する。			成績評価の方法： 定期試験 2 回：100 点 × 2 = 200 点 計 200 点満点とし得点率で評価する。 また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の 1 ~ 10% を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点 (%) を対応させる。 達成度評価の基準： 以下の(1) ~ (3)に関連する問題を出題し、それぞれ 6 割以上の正答レベルに達していること。 (1) 鉄骨構造の材料、構成 (2) 構造用鋼材、鉄筋、およびコンクリートの性質 (3) 鉄筋コンクリート構造の構成			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 適宜参考となる資料等を示すので、予習・復習を必ず行うこと。 また、常日頃から身の回りの建築に注意し、その構法に興味を持つ姿勢が重要である。						
教科書および参考書： 教科書：建築構造（実教出版） 授業資料：プリント類（適宜配布）						
授業の概要と予定：前期					A L のレベル	
第 1 回：構造用鋼材の分類と性質 1						
第 2 回：構造用鋼材の分類と性質 2					C	
第 3 回：鉄骨構造の構造形式						
第 4 回：鉄骨構造の構造計画					C	
第 5 回：鉄骨構造の接合方法（溶接・高力ボルト）						
第 6 回：鉄骨構造の柱や梁の形式 1						
第 7 回：鉄骨構造の柱や梁の形式 2					C	
第 8 回：中間試験						
第 9 回：鉄筋コンクリートの構造形式（ラーメン構造・壁式構造）						
第 10 回：鉄筋コンクリート構造の構造計画					C	
第 11 回：鉄筋の性質 1						
第 12 回：鉄筋の性質 2					C	
第 13 回：コンクリートの性質 1						
第 14 回：コンクリートの性質 2						
期末試験						
第 15 回：期末試験模範解答の解説および成績評価の説明、建築一般構造総論						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
	構造用鋼材、鉄筋、およびコンクリートに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	構造用鋼材、鉄筋、およびコンクリートに関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	構造用鋼材、鉄筋、およびコンクリートに関する問題をほぼ正確に解くことができない。
	鉄筋コンクリート構造の構成に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	鉄筋コンクリート構造の構成に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	鉄筋コンクリート構造の構成に関する問題をほぼ正確に解くことができない。
	鉄骨構造の構成に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	鉄骨構造の構成に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	鉄骨構造の構成に関する問題をほぼ正確に解くことができない。